

かわいい浴衣や甚平姿

明和保育園・幼稚園夏祭り



まといの踊りを披露する園児たち（保育園）



元気いっぱい担ぐ園児たち（幼稚園）

7月18日に明和幼稚園、8月1日に明和保育園でそれぞれ夏祭りが行われました。園児たちに伝統行事への親しみと、親子・家族の交流を深めてもらおうと行われるもので、たくさんの方の参加者でにぎわいました。

幼稚園では、かわいい浴衣や甚平を着た園児たちが、踊りを披露したり、みんなで作った手作りみこしを元氣いっぱい担ぎました。親子で、ヨーヨーつりなどのゲームや、おぼけやしきに恐る恐る入るなど、いろいろな夜店を楽しみました。

また、保育園ではかわいい園児が、みこし担ぎや、一生懸命練習した歌や踊りを披露。夜店では、ヒュードツキリコーナー、パネルシアターなど親子で楽しめました。

園児たちは、眠れないくらい楽しい夏の一夜を過ごしました。

青少年の非行防止を呼びかけ

更生保護婦人会

明和町更生保護婦人会の会員5人が7月1日、役場を訪れ「青少年の未来を考える『社会の母から』のメッセージ」を斎藤町長に手渡しました。

社会を明るくする運動を展開している20人の会員が、駅前や街頭でチラシなどを配布して青少年の非行防止を呼びかけたものです。同会では「地域に根ざした様々な活動を積極的に推進していく決意を新たにしています」と「社会の母」の思いの理解や協力を行政側に求めました。



斎藤町長にメッセージを手渡す鯉沼さん

心のふれあいやぬくもり

幼稚園児と寿学級生が世代交流



コマ回せるかな！

幼稚園児と寿学級生の世代交流会が7月2日、明和幼稚園で行われ、園児とお年寄り約92人は七夕飾りやコマ回しをし、楽しいひとときを過ごしました。

この交流会は、世代間の交流と昔ながらの遊びを通して、心のふれあいやぬくもりを伝えようと寿学級生の指導で行われました。

寿学級生は「園児と一緒に楽しく過ごすことができ、よい思い出になりました」と笑顔で話していました。